

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社RITA-STYLE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・自社の「お客様の人生を変える」というビジョンを明文化し、経営者からの説明及び従業員への共有を図っている。 ・熊本県「リーディング育成企業」に認定されている (https://www.pref.kumamoto.jp/kiji.18684.html)											8	9												17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス規定を作成し従業員へ周知している。																								16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先との関係や在り方や不正競争の意味を明文化し、従業員に共有、周知している。																10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各部署における責任者(担当者)を選任している。 ・自社、それぞれの部署の社会的役割について従業員に理解されている。																								16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産保護規定を整備し、従業員に周知している。													8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーポリシーを設定し、ホームページにて公開している。 ・個人情報管理規定を設定し従業員に周知している。																								16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客への声掛けやSNSを利用した対話を常時行っており、意見を収集しアフターフォローにつなげている。 ・関連会社と継続的に対話を行い、関連会社や環境等自社の及ぼす影響度を把握している。																							16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5						8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】2022年5月までにBCPを策定し、従業員への周知を図る。																9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の選定から指導、育成に取り組んでいる。															8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5						8						12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント禁止について就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を設置している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスを確保するために、職場内に憩いスペースを確保し休養時間の確保に努めている。 ・業務中の事故を未然に防止するためのマニュアルや事故発生時の対応マニュアルを策定し従業員に周知している。					3					8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金を理解し、従業員に対する公正な待遇を図るため、賃金設定のための査定項目を作成し周知している。 ・ガイドラインに沿った体制整備を行っている。						5.5					8.5		10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業時間管理の徹底や、有給休暇の取得を積極的に奨励し、残業や休日出勤は許可制とし、ワークライフバランスの推進を図っている。 ・厚労省「イクメンサポーター宣言」に参加、登録している (https://ikumen-project.mhlw.go.jp/supporter_group/entry/) ・熊本県「よかボス企業」に登録している (https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/35/50862.html)					3	5.5				8.5 8.8		10.3													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講、各種資格の取得を奨励している。 ・従業員の能力開発(周辺知識の習得等)やマネジメント能力の向上などに向けて社内研修を継続的に行っている。					4	5.5				8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・除菌脱臭装置の設置によりウイルス対策を行っている。 ・健康診断等の経費補助を行っている。 ・がん対策推進企業等連携推進事業のパートナー企業である (https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/partner/list_prefecture.php?city_code=43)					3					8													17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や、昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・役員等管理職に女性を登用している。 ・熊本県女性の社会参加加速化宣言の登録を行っている (https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_9890.html)					4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3											16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議の積極的導入や会議の時間を設定し定期的な換気を徹底している。 ・顧客の入れ替えの都度換気や消毒清掃を徹底している。								3			8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・すでに一部導入しているものもあるが、引き続き、契約手続き、社内手続きやカタログ等の電子化を進めている。 ・社員へのPC配布等の投資を行い、テレワークも一部導入している。											8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●														8	9					12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社RITA-STYLE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内で出たごみの処理ルールを設定しており、分別処分を行うとともに、削減の周知を行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量の算出を行い、管理を徹底する。 ・オフィスの節電を従業員に周知し、LEDの使用を図っている。 ・社用車を廃止し、必要な時にはカーシェアを利用している。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量の算出を行い、管理を徹底し、その抑制への取り組みを行う。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・電子決済や電子契約書を導入しペーパーレス化を推進している。 ・社内使用書類について、裏紙の利用を推奨している。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適切な処理を実践している。 ・環境省の「ウォータープロジェクト」の参加企業である。 (http://www.env.go.jp/water/project/action/com.html)		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・【予定】2022年5月までにグリーン購入の意義を周知し、実践を行う。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・健康エコ手当(マイカー以外での通勤の従業員に手当)を創設し、排気ガスの削減を行っている。 ・国交省の「エコ通勤優良企業」に認証されている (http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/list_pref43.html)								9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社RITA-STYLE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品(プロテイン)の安全性を確認し、仕入、販売を行っている。 ・商品、サービス利用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を毎月会議にて共有し、実施している。 ・商品、サービスの質の確保のため、相談窓口を設定している。 ・専門家(医師等)の意見を踏まえトレーニングメニューの開発や食事指導を行っている。			3.9					9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・キャッシュレス決済を複数導入している。 ・消費者庁の「消費者志向自主宣言 フォローアップ活動」に参加している (https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/consumer_oriented_management/businesses/list_009.html#r005)								9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・食事管理や運動を通じて健康的な体を作るにより、より健康寿命を高めるサービスの開発、展開を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、事業所の周りの清掃を奨励するなどして地域の活動に貢献している。 ・地域事業者として、地域の防災活動や自治会活動に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・【予定】2022年5月までに、ハザードマップの周知を図る。 事業所内に防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・会社の施設にAEDを設置しており、従業員に使い方の教育を行っている。	1.5			3	4					10.2	11.5			13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・【予定】2022年5月までに社内でのSDGsについての取組を共有周知し、意識向上を図る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・代表者が、熊本学園大、熊本大において、定期的に講義を行っている。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・コーポレートサイトを開設し、会社のメッセージを発信し、より就業しやすい環境を整え、地元の学生を積極的に雇用している。					4.4			8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。